

令和6年度 第1回花巻市史編さん委員会

日 時：令和6年6月27日(木) 午後3時00分

場 所：花巻市博物館 講座・体験学習室

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告
 - ・専門部会長について
- 4 協議
 - (1) 専門部会の設置について
 - (2) 市史で取り扱う事項について
- 5 その他
- 6 閉会

花巻市史編さん委員会 委員名簿

構 成	職 名	氏 名	備 考
学識経験を有する者	岩手大学名誉教授	佐藤 由紀男	
	東北学院大学文学部歴史学科教授	七海 雅人	
	東北学院大学文学部歴史学科教授	兼平 賢治	
	広島修道大学経済科学部現代経済学科准教授	田中 藍子	
	佛教大学総合研究所特別研究員	中嶋 奈津子	
識見を有する者	花巻市文化財保護審議会会長	大原 皓二	
	近世史・郷土史研究家	阿部 茂巳	
	石鳥谷歴史民俗資料館前館長	菊池 邦雄	
	花巻市博物館 前館長	高橋 信雄	
その他教育長が必要と認める者	花巻市博物館 館長	中村 良幸	

花巻市教育委員会

教育長 佐藤 勝

教育部長 瀬川 幾子

花巻市博物館 市史編さん室

室 長 村田 豊隆 副主幹 布臺 一郎 上席主査 小原 伸博

上席主査 高橋 静歩 主 査 因幡 敬宏

学芸調査員 三浦 友季 学芸調査員 飯坂 正弘

行政事務員 柳原 純也 事務補助員 千田 剛

報告

専門部会長について

■ 専門部会長案

部会	部会長	備考
先史	熊谷 常正（盛岡大学名誉教授）	旧石器～弥生時代
古代	八木 光則（岩手大学客員教授）	奈良～平安時代
中世	七海 雅人（東北学院大学文学部歴史学科教授）	鎌倉～室町時代
近世	兼平 賢治（東北学院大学文学部歴史学科教授）	安土桃山～江戸時代
近代	上白石 実（盛岡大学文学部教授）	明治～戦後
現代		戦後復興～平成
自然	苗村 康輔（岩手大学教育学部准教授）	地質・鉱物、動植物、 自然災害など
民俗	佐藤 優（盛岡大学文学部准教授）	郷土芸能、地域の伝 承や民具など
美術工芸		絵画、工芸品など

花巻市史編さん専門部会設置要綱（案）

（設置）

第1条 花巻市史（以下「市史」という。）の編さんに当たり、編さんに必要な資料の収集、調査研究及び執筆その他必要な作業（以下「調査等」という。）を行うため、花巻市史編さん専門部会（以下「部会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 部会は、部会長及び部会員おおむね10人以内をもって組織する。

2 部会長及び部会員は、市史編さんに関する識見を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 部会は、次に掲げる専門の部会で組織されるものとし、専門の部会を必要に応じて置くものとする。

- (1) 先史部会
- (2) 古代部会
- (3) 中世部会
- (4) 近世部会
- (5) 近代部会
- (6) 現代部会
- (7) 自然部会
- (8) 民俗部会
- (9) 美術工芸部会

（部会長）

第3条 部会長は、それぞれ専門の部会を代表し、その会務を総理する。

2 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長の指名する部会員（以下「代理者」という。）がその職務を代理する。

（任期）

第4条 部会長及び部会員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 部会長が欠けた場合における代理者の任期は、前任者の残任期間とする。

（秘密保持）

第5条 部会長及び部会員は、調査等において知り得た個人情報又は資料を管理する者の同意を得られない情報について、他人に知らせ又はその目的の外に使用してはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（会議）

第6条 部会の会議は、部会長が招集し、その議長となる。

2 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者を会議に出席させ、意見を聴

き、又は資料の提出を求めることができる。

(市史編さん協力員)

第7条 調査等を効率的に行うため、部会に市史編さん協力員を置くことができる。

2 市史編さん協力員は、識見を有する者のうちから部会長が推薦し、教育委員会が委嘱する。

(謝礼)

第8条 部会長及び部会員が第6条の会議に出席したときは、謝礼を支給する。

2 前項の謝礼の額は、日額4,000円とする。

3 部会長、部会員及び市史編さん協力員が調査等を行ったときは、謝礼を支給する。

4 前項の謝礼の額は、調査一回毎に4,000円とする。

(費用弁償)

第9条 部会長及び部会員が第6条の会議に出席したとき並びに部会長、部会員及び市史編さん協力員が調査等を行ったときは、会議及び調査等の日数に応じて、旅費を支給する。

2 前項の旅費の額は、花巻市一般職の職員等の旅費に関する条例（平成18年花巻市条例第45号）第7条の規定を準用する。

(庶務)

第10条 部会の庶務は、教育委員会花巻市博物館市史編さん室において処理する。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和6年 月 日から施行する。

花巻市史編さん専門部会員名簿（案）

1. 先史部会

	氏 名	職 名	備 考
部会長	熊谷 常正	盛岡大学名誉教授	
部会員	佐藤 由紀男	岩手大学名誉教授	市史編さん委員
〃	吉田 泰幸	盛岡大学文学部准教授	
〃	菅野 智則	東北大学埋蔵文化財調査室准教授	
〃	八木 勝枝	岩手県埋蔵文化財センター	
〃	岩田 貴之	北上市埋蔵文化財センター	
〃	金子 昭彦	岩手県立博物館学芸員	

2. 古代部会

	氏 名	職 名	備 考
部会長	八木 光則	岩手大学客員教授	
部会員	永田 英明	東北学院大学文学部教授	
〃	堀 裕	東北大学大学院文学研究科教授	
〃	大堀 秀人	奥州市埋蔵文化財センター	
〃	村田 淳	岩手県埋蔵文化財センター	
〃	杉本 良	北上市埋蔵文化財センター	
〃	菊池 賢	花巻市総合文化財センター	

3. 中世部会

	氏 名	職 名	備 考
部会長	七海 雅人	東北学院大学文学部教授	市史編さん委員
部会員	三好 俊文	宮城大学基盤教育群准教授	
〃	竹井 英文	東北学院大学文学部教授	
〃	佐々木 徹	仙台市博物館学芸員	
〃	高橋 和孝	奥州市教育委員会主任学芸員	
〃	室野 秀文	花巻市総合文化財センター	

4. 近世部会

	氏 名	職 名	備 考
部会長	兼平 賢治	東北学院大学文学部歴史学科教授	市史編さん委員
部会員	熊谷 隆次	八戸工業大学第二高等学校教諭	
〃	脇野 博	元岩手大学教授	
〃	中野渡 一耕	青森県職員	
〃	渋谷 洋祐	北上市立博物館長	
〃	堀田 幸義	宮城教育大学大学院教授	
〃	中村 安宏	岩手大学人文社会科学部教授	
〃	藤田 俊雄	元八戸市立図書館長・元市史編纂室長	

5. 近代部会

	氏 名	職 名	備 考
部会長	上白石 実	盛岡大学文学部教授	
部会員	今野 日出晴	元岩手大学教授	
〃	伊藤 大介	東北学院大学教養教育センター助教	
〃	脇野 博	元岩手大学教授	
〃	深澤 あかね	花巻市文化財保護審議会委員	
〃	伊藤 寛崇	秋田工業高専専門学校非常勤講師	
〃	加藤 昭雄	行政書士	

担当者

	主担当	副担当
先史	小原 伸博（市史編さん室上席主査）	飯坂 正弘（市史編さん室学芸調査員）
古代	高橋 静歩（市史編さん室上席主査）	小原 伸博（市史編さん室上席主査）
中世	因幡 敬宏（市史編さん室主査）	高橋 静歩（市史編さん室上席主査）
近世	因幡 敬宏（市史編さん室主査）	布臺 一郎（市史編さん室副主幹）
近代	布臺 一郎（市史編さん室副主幹）	三浦 友季（市史編さん室学芸調査員）

(2) 市史で取り扱う事項について

分野	時代	事項（一例）
先史	旧石器～弥生時代	〔旧石器時代〕宿内遺跡（石器製作址）、風穴洞穴遺跡（旧石器時代の動物骨） 〔縄文時代〕上台Ⅰ遺跡（草創期～早期：集落跡）、馬場長根遺跡・下中居Ⅰ・Ⅱ遺跡・高畑遺跡（前期：住居跡、土器・石器）、天神ヶ丘遺跡・久田野Ⅰ・Ⅱ遺跡・折居遺跡（前期～中期：大集落跡、住居後、貯蔵穴）、観音堂遺跡・大地渡遺跡・小瀬川Ⅰ遺跡（中期：大集落跡、遺物多数）、甚五郎遺跡・高畑遺跡・向村遺跡・曲谷地遺跡（中期：住居後、遺物多数）、石持Ⅰ遺跡・円万寺館遺跡（落とし穴遺構多数）、立石遺跡・稻荷神社遺構・安俵6区遺跡・清水屋敷遺跡・小屋場遺跡・八木巻イタコ塚遺跡（後期：配石遺構、祭祀遺物、アスファルト付石鍾）、七ツ森古墳群遺跡（後期：住居跡）、小田遺跡・安堵屋敷遺跡・不動Ⅰ・Ⅱ遺跡（晩期：祭祀遺物、土器・石器類多数） 〔弥生時代〕滝大神Ⅰ遺跡（縄文晩期～弥生時代前期：遺物多数）、野原Ⅲ遺跡（クマ形土器）、天ヶ沢遺跡（前期～中期：土器類多数）、アバクチ洞穴遺跡（東北地方唯一の弥生時代人骨）
古代	奈良～平安時代	〔遺跡〕熊堂古墳群、古館Ⅱ遺跡、法領遺跡、下坂井Ⅰ・Ⅱ遺跡、古館Ⅲ・Ⅳ遺跡、大谷地Ⅲ遺跡、貝の淵Ⅰ遺跡、稻荷遺跡、万丁目遺跡、島岡Ⅱ遺跡、方八丁遺跡、上似内遺跡、似内遺跡、下似内遺跡、中嶋遺跡、羽黒田遺跡、不動Ⅰ・Ⅱ遺跡、庫理遺跡、石持Ⅰ遺跡、胡四王山遺跡、大瀬川遺跡 〔遺構〕経塚 〔出土品〕墨書土器、赤彩球胴甕、蕨手刀、方頭太刀、和同開珎、勾玉 〔寺社〕丹内山神社、兜跋毘沙門天立像、阿弥陀如来立像

分野	時代	事項（一例）
中世	鎌倉～室町時代	〔城館〕 先屋遺跡、万丁目遺跡、小瀬川館、本館、鳥谷崎城、田万寺館、根子館（上館、中館、下館）、笹間館、安俵城、倉沢城、毒沢城、大迫城、亀ヶ森城、大瀬川館、寺林城、新堀城（上館、中館、下館）、八重畑館、小森林館、屋敷遺跡（中世町場）、御所ヶ館、湯の高館、大畑館 〔遺構〕 板碑 〔寺社〕 成島毘沙門堂、延妙寺阿弥陀如来立像、大日如来像（湯本） 〔人物〕 是信房、稗貫氏和賀氏とその家臣
近世	安土桃山～江戸時代	〔花巻城〕 奥羽仕置、北秀愛、北信愛（松斎）、南部政直、土沢城、田瀬館、藩境、北上川流路変更（工事）、各番所（浮田・田瀬）、揆奮場、舟運 〔街道〕 奥州街道、釜石街道、湯街道（道標） 〔出来事〕 百姓一揆、飢饉 〔産業〕 葉たばこ、桐下駄、片栗、田瀬鮎、八沢おこし、矢沢酢、こんにゃく、前掛真田、糸車、和紙、傘作り、花巻人形、陶器、酒造り 〔その他〕 嶽妙泉寺、花巻年行事（一明院）、大迫銭座、鉾山、金採掘、隠れキリシタン
近代	明治～終戦	〔政治〕 明治天皇の東北巡幸（M9、M14）、明治・大正の町村合併、昭和の市町村合併 〔交通〕 東北本線、岩手軽便鉄道、花巻電気鉄道 〔教育〕 学制、教育令、小学校令、小学校設置や合併等変遷 〔出来事〕 花巻空襲、電気の普及、アイオン・カスリン台風、ダム建設 〔産業〕 台焼、煉瓦工場、花巻商人、南部杜氏、鶯沢鉾山 〔その他〕 渡し舟、花巻温泉、花巻病院、先人

分野	時代	事項（一例）
現代	戦後復興～平成	〔政治〕 一市三町合併 〔交通〕 いわて花巻空港、東北新幹線、東北自動車道、釜石自動車道 〔出来事〕 東日本大震災 〔教育〕 学校統廃合、大学誘致 〔その他〕 戦後の緊急開拓、高度成長期の産業変化
自然	地質・鉱物、動植物、自然災害など	〔地形・地質〕 早池峰山、薬師岳、胡四王山、猫山（モリブデン鉱）、北上川、猿ヶ石川、豊沢川、葛丸川、稗貫川、たろし滝、七折滝、大空滝、イーハトーブの風景地（花巻地域：釜淵の滝、イギリス海岸、五輪峠）、安山岩節理 〔動植物〕 カズクリ自生地、花輪堤ハナショウブ群落、白山杉、ヒメギフチョウ、矢沢地区ゼニタナゴ生息地
民俗	郷土芸能、地域の伝承や民具など	〔民俗芸能〕 神楽、鹿踊り、念仏踊、田植踊等 〔年中行事〕 小正月行事、馬っ子つなぎ、盆行事、秋祭り、蘇民祭 〔信仰〕 隠し念仏、まいりの仏、庚申信仰、供養絵額、早池峰信仰、三十三観音巡礼、八十八ヶ所巡礼、清水まいり、地藏まいり 〔生業〕 炭焼、狩猟、樵、農業 〔その他〕 倉沢人形歌舞伎、地区ごとの寺社由来、南部杜氏の酒造用具
美術 工芸	絵画、文芸、工芸品など	〔絵画〕 花巻の三画人（小野寺周徳、八重樫豊澤、橋本雪蕉）、菊池黙堂、萬鉄五郎、松本竣介、阿部芳太郎、平沢屏山、菊池素香、寺島貞志 〔彫刻〕 高村光太郎、毘沙門堂の毘沙門天立像ほか、勝行院阿弥陀如来坐像、白山堂の大日如来 〔伝統工芸〕 花巻人形、花巻傘、こけし、成島和紙、鍛冶丁（町）焼、花巻焼、台焼、金矢焼、ホームスパン、さき織り 〔文芸〕 宮沢賢治、高村光太郎、旅行記、紀行文 〔俳句〕 伊藤鶏路、彦々子英里 〔その他〕 内村皓一（写真家）、刀剣等

令和6年度のスケジュールについて

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市史	◎資料収集と整理(各種行政関係資料の調査、市民からの資料の情報提供)											
	◎部会長の選任(5部会)			◎部会長の選任(現代、美術工芸)								
	◎部会員の選任(5部会)			◎部会員の選任(現代、自然、民俗、美術工芸)								
	◎部会員との日程調整					●専門部会の開催(9月から先史、古代、中世、近世、近代の5部会を開催する)						
							●専門部会による資料の調査収集等					
編さん委員会												
	● 第1回委員会 ・専門部会員の選任 ・専門部会の開催											
● 第2回委員会 ・各部会の進捗状況 ・児童向け市史の進捗状況 ・次年度の計画												
児童向け市史	◎児童向け市史の原稿執筆に用いる資料の収集											
	◎執筆者・監修者の選任			執筆者への資料提供等								
	準備打合せ					◎原稿執筆(執筆者会議の終了後から執筆を開始し、令和8年2月に原稿完成を目標とする)						
	●編集委員会(各時代の範囲、調査計画)						●編集委員会(進捗状況の確認)					
	●執筆要領の決定											